

セルロースナノファイバー実用化 フォーラム 2026 in おかやま

日時 2026年2月10日(火) 13:30~17:00

13:00~開場

会場 アークホテル岡山
3階 牡丹
(岡山市北区下石井2-6-1)

参加登録はこちら



定員 60名
参加費 無料(事前申込要)

参加申込 裏面URL・QRコードより **2月2日(月)** までにお申し込みください。

●基調講演

13:35~14:35

『セルロースナノファイバー(CNF)射出成形材料のカバー部品への適用』

講師：ヤマハ発動機株式会社

生産技術部車体工法開発グループ チーフ
藤井 豊彦氏



●実用化事例発表

14:45~16:35

東洋製罐グループホールディングス株式会社

総合研究所 マテリアル研究部 生物化学研究室 室長 長濱 英昭氏

カミ商事株式会社 開発企画部 部長代理 柏田 祥策氏

DAIKEN株式会社 R&Dセンター 素材開発室 室長 竹田 康浩氏

岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 内田 哲也氏

●CNF関連製品等展示

16:40~17:00

個別相談

主催

岡山県・中国経済産業局 【事業受託機関】公益財団法人岡山県産業振興財団

後援

ナノセルロースジャパン、国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター、地方独立行政法人京都市産業技術研究所、ふじのくにセルロース循環経済フォーラム、四国CNFプラットフォーム、地域オープンイノベーション：バイオナノマテリアル共同研究拠点、薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会、みやぎCNFプロジェクトチーム、晴れの国CNF連絡会(予定)

TIME	TABLE	プログラム
13:30~13:35		開会挨拶
13:35~14:35		基調講演 『セルロースナノファイバー（CNF）射出成形材料のカバー部品への適用』 ヤマハ発動機株式会社 生産技術部車体工法開発グループ チーフ 藤井 豊彦 氏  <p>ヤマハ発動機はサステナビリティ方針に基づき、環境負荷低減と資源循環を目指しCNF活用を推進。日本製紙株式会社と協業し、水上オートバイのエンジンカバーに世界初の量産採用を実現。CNFは鉄の5倍の強度と軽量性を持ち、低膨張率や高リサイクル性など環境特性に優れる。成形性や外観品質を改善し、繰り返しリサイクルしても強度低下は最小限に抑えられることを確認。今後はコスト課題解決と適用拡大に向け、オープンイノベーションで技術開発を加速する。</p>
14:35~14:45		休 憩
14:45~16:35		実用化事例発表 14:45~15:10 東洋製罐グループホールディングス株式会社 総合研究所 マテリアル研究部 生物化学研究室 室長 長濱 英昭 氏  『CNCを用いたバリア性紙コップ「エコクリスタルカップ」の研究』 <p>本講演では、セルロースナノクリスタル（CNC）をガスバリア材に用いた紙コップ「エコクリスタルカップ」の開発事例を紹介する。CNC塗工と自社成型技術を融合し、プラスチック使用量の削減と高いガスバリア性を両立した紙容器の試作に成功。実機試験の結果や社会実装に向けた課題と展望を報告する。</p> 15:10~15:35 カミ商事株式会社 開発企画部 部長代理 柏田 祥策 氏  『DXによる100%CNF成形体「アモルセル®」の開発とGX』 <p>我々はDX等を活用してプラスチックに混練しないセルロースナノファイバー（CNF）100%成形体の迅速製法の開発に成功するだけでなく、CNF成形体のアモルファス化によって、汎用プラを凌駕する物性と金属と同等な比強度、さらには高いガスバリア性を付与することに成功した。この特異的な高機能CNF成形体「アモルセル®」は、CNF水分散体から最短30分で成形可能で、一般機械部品から宇宙産業部材まで幅広く適用可能であり、現在は産業移入への検討を進めている。アモルセル®はGXへの端緒となる可能性を秘めている。</p> 15:45~16:10 DAIKEN株式会社 R&Dセンター素材開発室 室長 竹田 康浩 氏  『CNF技術を活用した内装建材の開発（床材）』 <p>CNF成型板を用いた床材に関する開発状況・製品実装に向けた取り組みをご紹介。2022年CNF実用化フォーラムで発表したCNF成型板を内装建材として床材に活用した検討を継続しており、実際に床材としての実大試作・施工検証を進め、その品質・性能において内装建材への適用可能性を検証した。</p> 16:10~16:35 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 内田 哲也 氏  『ナノセルロースを用いた新規高性能材料の開発 ～高性能複合体から人工網膜まで～』 <p>循環型資源であるナノセルロース（セルロースナノファイバーおよびセルロースナノクリスタル）の構造および物性の特徴を活かして作製した新規材料（高性能複合体、透明バルブ、人工網膜など）について紹介する。</p>
16:35~16:40		閉会挨拶
16:40~17:00		C N F 関連製品・サンプル展示・個別商談

お問い合わせ先
お申し込み先

公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部研究開発支援課
 担当：水野・中磯
 TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 E-mail : cnf@optic.or.jp
 URL https://www.optic.or.jp/event/event_detail/index/8558.html

